

大物狙うよ「釣りガール」

上智新聞

今夏に流行しそうな「釣りガール」。おしゃれに釣りを楽しむ若い女性のことだ。メディアでも取り上げられ、女性向け釣り製品が発売されるなど、注目を集めている。

4年前から釣りを始めたマリネレジャーを推進している「海なでこ」(http://www.unimikou.com/nadeshiko)という団体がある。上智大学などの学生による企画・イベントのインカレ(大学間交流サークル「輝女hookirajyo」)の活動の一環。女子大生がさまざまなマリネスポーツに挑戦して

いる。

これまでにカヌーや遠泳、釣りに挑戦し、イベントやウェブでその楽しさを広めてきた。活動を始めるまではマリネレジャーに触れたことがない初心者ばかりだった。上智大4年の武綾乃さん(22)は「最初は海水のべたつきも、足に砂がつくのも嫌だった」という

が、だんだん海になじみ「自分も自然の一部」と感じるようになったという。海なでこは国土交通省海事局や海に関する団体と提携。釣り活動については「日本釣振興会」の支援を受けている。釣具店やメーカー、釣り団体などによる財団法人だ。横須賀や伊豆

上智大3年、忍足梨奈さん(20)は昨年11月、初めて本格的に東京湾で釣りを体験した。最初は抵抗があつてえさを手にとれず、魚がえさに食いついてさおが動いているのにも気づけなかった。だが、終わってみればアジやサバを1人で約20匹も釣った。

釣りに行くには、事前の準備も必要だ。海なでこのメンバーは日焼け止めを念入りに塗り、動きやすい格好をして防寒具をつけ、早朝に出発する。当初は釣った魚をつかむことすらできなかつたが、次第に慣れいき、今では魚をさばくこともできるようになった。

「リア充!@キャンパス」は、大学新聞の記者たちに身近な話題を報告してもらう企画です。随時掲載。企画・構成/朝日新聞東京総局。

リア充!?

@キャンパス

「リア充」は、「リアルな生活が充実していること」をうらやんだり、からかったりするときに使う若者の言葉。



東京湾で釣りに参加した忍足梨奈さん=2010年11月、忍足さん提供

コリアンタウン発 復興支援

17日から新宿でチャリティーイベント



「被災地の人たちの力になりたい」と話すKINOのメンバー=新宿区

「日本人が大変な時だからこそ」

る男性5人組のユニット「KINO」や弟分の「SOS」「ROTI」などのライブがある。会場には募金箱も置かれる。

KINOのリーダー、ヘミンさんは9日の記者会見で「被災地の人たちが

「コリアンタウン」として知られる新大久保かいわい(新宿区)で飲食店などを営む在日コリアンらが17、19日、東日本大震災の復興支援イベントを区立大久保公園で開く。地元の人や商店主らも協力。「韓日友好チャリティー広場」と銘打ち、収益金や寄付は日本赤十字社を通じて被災地に贈る。

来日28年という韓国料理店経営の呉永錫さん(60)は震災後、多くの在日外国人が日本を離れるのを見て心が痛んだ。「さまざまな事情があつただろうが『お世話になってきた日本人が大変な時に申し訳ない』と思つた」という。何かできることはないかと、親しい同胞や日本人に思いを明かすうち、地域の特徴を生かした多文化共生イベントを企画することになった。

公園に韓国料理や「韓流グッズ」、風評被害に苦しむ野菜の直販店などの屋台約30店を出店。イベント広場では、地元発の韓流スターとして人気が高まっている

東日本大震災救援募金

朝日新聞厚生文化事業団受け付け

90万8026円 中央区・御台本合唱連盟▽50万円 杉並区・家正則▽20万円 新宿区・熊倉組安全衛生協力会首都圏支部▽10万円 目黒区大谷かすたが小平市・インフラナーブ・マエマエ▽8万円 6千円 町田市・南正雄▽8万円 千代田区・高岡綜合法律事務所▽6万5千円 八王子市・橋本良一チヤリティーコンサート▽6万円 練馬区大澤絵利子▽5万円 大田区・ワイオレナニ▽2万円 府中市・立川高校おにぎり山居会▽4万7千円 文京区・東京医科歯科大学整形外科一同▽4万4500円 53信田家B&Q▽4万2146円 金二平・鄭賢洛(米国)▽3万9千円 タチアール・ラッソーシエン(ロシア)▽2万円 中野区・松浦アミリー、練馬区・本橋延雄▽1万9300円 世田谷区・榎本和明▽1万円 品川区・はなだん、杉並区・加藤三子、練馬区・奥畑マチ多摩市・伏木田佳子、町田市・木村脩一郎、青梅市・師岡郁子▽7千円 国分寺市・佐藤英人▽6410円 練馬区・協和自動車輸送会▽5千円 国立市・小林初彦、調布市・阿々津百合子▽39900円 中野区・村直美▽3631円 府中市・青島サッカークラブ4月30日参加者有志▽千円 北区・久保勉▽1110円 北区・本間裕也